



発行・カトリック水巻教会

編集・広報委員会

遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3

〒807-0021

TEL 093(201)0680 FAX(201)7354

第289号

支援活動

東日本の大震災への支援活動が各地で行われています。福岡教区でも6月5日に支援のための会議を行いました。私も教区から参加の要請が来ましたので出席しましたが、長い時間をかけて話し合ったのに支援室を作るだけしか決まりませんでした。

大きな災害を受けた人を助けることは本当に難しいことです。今の時点だけを助ければすむ問題ではありません。長い期間の支援を考えないといけないからです。しかし、困っている人々を助けることはキリスト教徒の使命でもあると思います。

イスラエルの民がファラオの追跡から逃れ、砂漠に出てからすぐに食べ物に困ったとき、神様はイスラエルの民にマナという食べ物を与えてくださいました。(出エジプト記16章) このマナを食べることで、エジプトから逃れたイスラエルの民は40年間の砂漠の旅を続けることが出来ました。しかし、イスラエルの民がヨルダン川を渡ってエリコの手前のギルガルに到着し、その土地の産物を使って酵母を入れないパンを焼いて食べて過越祭の祝いをした時点でマナは降ってこなくなりました。(ヨシュア記5章)

40年間の旅は苦難の連続でした。敵と闘うこともありました。住んでいる土地を通過させてくれない部族もありました。モーセがシナイ山へ登って留守の間に神への信頼をなくした民は金の牛を作って神を裏切りました。そのためエジプトから脱出した人たちと共にモーセもカナン之地に入ることなく途中で亡くなりました。

広報・岩本

今度の震災によって全てを無くされた人々への支援は大きな問題です。被災した人たちは早くもとの生活に戻ろうとしています。家も職も失って途方に暮れていると思います。だからこそ私たちは神様がイスラエルの民を見捨てず、生きていける目途ができるまで、毎日マナを降らせて下さったことを忘れず、震災にあった人たちが自分で生きていけるようになるまで続けることを考えて支援をしないとはいけません。

外国籍住民の支援をするとき「あの人たちは可哀想な人だから助けてあげないといけない」という人がいます。そのようなことでは本当の支援はできません。その人は彼らを自分より下の者として差別しているのです。

苦しんでいる人への同情や支援は大切なことですが、その人々を上からの目線で哀れんでいませんか。相手の立場を尊重し苦しみを分かち合う心がありますか。このことは人間として、キリスト教徒として一番大切なことです。

子ども達のページ	2面
今、モーセの十戒を読み直す	3面
委員会等報告	4面
北九州信徒協議会 典礼部会の報告	5面
福音を運ぶ人を目指して	6・7面
教会学校のページ	7面
おしらせ・聖書への案内	8面



*ルカによる福音書

ルカはパウロに付いて歩いた医者でした。

この福音書にはいろいろな特徴があります。

①イエス様のことを詳しく書こうとしたことです。

②この本をギリシャ語を使う人たちのために書きました。それはユダヤ人ではない人ということですから、外国人のために書いたこととなります。

③福音書の次にある使徒言行録がルカによる福音書の続きということになっていることです。パウロと一緒に教えを伝える旅をしたことから、その旅がとても大切だったことを考えたからだったのでしょう。

④他の福音書にないたとえ話があります。「放蕩息子のとえ」「善いサマリヤ人」などです。

ルカによる福音書には、弱い人、貧しい

人、女性たち、子どものことなどを書かれています。

*ヨハネによる福音書

この福音書は、90年ころエフェソで書かれたことになっています。

「霊的福音書」とも呼ばれています。そのため他の三つの福音書とは違う内容がたくさんあります。ヨハネによる福音書の中で、イエス様は新しい掟(守ることを)話されます。この言葉はヨハネによる福音書の中で一番有名な箇所です。

「あなた方に新しい掟を与える。互いに愛し合いなさい。私があなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。互いに愛し合うならば、それによってあなたがたがわたしの弟子であることを、皆が知るようになる」13章34節～36節

「今、モーセの十戒を読み直す」No.13

さいたま教区長 谷 大二司教

第九戒・第十戒

最後に九戒・十戒になります。第九戒は「隣人の家を欲してはならない」、第十戒は「隣人の妻、男女の奴隷、牛、ろばなど隣人のものを一切欲してはならない」です。妻と牛・ろばが一緒になっている、けしからん(と思うかもしれない)…。ただ、牛・ろばというのがポイントです。

10年くらい前、フィリピンのミンダナオ島に行って、いろんな教会との交流などをしたのですが、MILF(モロ・イスラム解放戦線)の将軍という人が会いたいと言ってきたのです。いつ来るのか、どこで会うのかもさっぱり分からない。会うという話で、突然ある民家に呼ばれて行ったら、そこに風采の上がらぬ、農家のお父さんみたいな人がいました。なぜ僕に会いたかったかという、イスラムの女の子たちに奨学金を2年分くらいだったか出してあげたんですね。それのお礼に来たという訳です。「あなたはキリスト教だけいい人だ、もしミンダナオで我々の仲間にも捕まっても、良い人のリストに入れておくから安心して歩いてください」と言われたことがあります。いろんな話を2時間くらいしました。

「どうして戦争ばかりしてるのだ」と聞いたら、「自分の住んでいた、ミンダナオ島の北の方の町を政府軍によってめちゃくちゃにされた。家は壊された。畑もなくなった。それから、カラバオ(水牛)もいない」という訳です。彼の並べた順番は(奥さんのことは言わなかったけれど)家と畑と水牛です。水牛というのは生活するために必需品なんです。それがいなければ農耕もできないし、物を運ぶこともできない。それくらいに非常に重要な家族の一員として飼っている家畜ということなのです。

きっと(聖書の)この個所も妻、奴隷、牛、ろばと書いてありますけれども、家族と同じように奴隷も大切にしていた、家族と同じように牛やろば、これも大切なものなんだ。だから奥さんが下げられたのではなくて、奴隷とか牛とか、ろばの方が少し上がってるんだという風に考えていたらいいと思うんです。ただ、これは隣人のものを一切欲してはならないということなのです。

第七戒には「盗んではならない」というのがありますが、エジプトでは国家、軍隊がイスラエルの民の家、妻、男女の奴隷、牛、ろばなどを欲しいままに略奪していた訳です。

貧しい者が生きるために必要とする手段と権利、そういったものを守っていくことが大切なんだと、隣人、隣国の人々の生存権を奪ってはならないという意味を表します。第七戒に「盗んではならない」とあり、第九戒、十戒合わせてですけれども「欲してはならない」ということを考えると、第九戒、十戒というのは節度、あるいは清貧というところまで考えていいんじゃないかなと思います。清貧というのはカネとモノから自由になる、それに心を奪われないということなのです。そして物、水や大地や生産物、こういったものの価値を正しく評価し、相手が持っているものを尊重する、そういう精神です。この席にも清貧・貞潔・従順を誓っている方もいますけれども、その中の清貧です。

委員会等報告

2011年6月分

6月度小教区委員会

6月5日

1. 前委員会の確認

- ・信徒総会資料の最終確認
- ・教会用TV購入：デジタル対応TV購入
- ・東日本大震災復興支援のお願いと配分、教区を通じて。
- ・下水道設備について、業者を2～3選り検討、工事は来年夏頃行う予定。
幼稚園との話し合いも行う。→見積もりを依頼（来年度予算に）

2. 先月の行事報告

- 5月8日（日）信徒総会 86名参加
- ・駐車場基金と駐車場献金の違いが指摘された。しかし原則、他用はない。
- ・委員会活動費を計上して欲しい。
- ・利息のつかない預金について。
- 5月15日（日）世界召命祈願の日
黙想の家で語り語り合う集い
- 5月29日（日）世界広報の日（献金）

3. 議題

- ・信徒総会から委員会開催について
委員会開催を隔月にする。必要あれば、臨時も。
（7月3日、9月4日、11月6日、1月8日、3月4日）
異論も出されたが。
- ・朗読の地区割りの体勢に人手不足がある。
別案も出された。

4. その他

- ・クルリシオ参加費用
水巻教会から1人参加
教会から6000円援助
- ・信徒協関係行事（平和の集い、レクリエーション大会）にバスを出す。
- ・召命の集いにバスを出す
レンタカーの手配
- ・桜の木 信徒館1Fの外を伐採提案
- ・教会と幼稚園の電気、水道メーターを別に
する。
- ・子どもキャンプ 巡礼旅行

5. これからの活動予定

- 6月 5日（日）主の昇天
- 6月12日（日）聖霊降臨の主日、
納骨堂利用者集会
- 6月19日（日）三位一体の主日
- 6月26日（日）聖ペトロ使徒座への献金

平和の集いに参加しましょう

今年も8月7日(日)に平和の集いが
あります。

今年は、イエズス会の林 尚志神父
を招き、講演していただきます。

皆さん、時間のある方は、出来るだけ
参加しましょう。

北九州信徒協議会 典礼部会の報告

6月12日(日) 14:30~16:30 小倉教会(参加:浜口学、三谷、矢田)

1 2011年度活動計画について

年3回の定例会:第2回 8月23日(日) 第3回 2012年1月末
今年度の典礼部会による信徒研修会は、各小教区で、司祭・信徒が心を合わせてよりよい、生きた典礼を行うために、テーマを決めて話し合いを持つとする。
次回までに共通テーマを持ち寄る。

2 第11回『北九州平和の集い』について(実行委員会が2回開かれた)

日 時:8月7日(日)

テーマ:「希望に向かって」

講 師:林 尚志神父(イエズス会司祭)

平和献金先:東日本大震災被災者のため、東チモール支援のため

<平和の集いの日 次第>

(1) 第1部(午前中)各小教区での平和祈願ミサを申し合わせ

- ・平和献金 ・平和のための祈り ・奉納(折り鶴、霊的花束、パネル etc.)
- ・統一共同祈願(飯塚教会が作成) ・閉祭の歌「わたしをお使いください」

(2) 第2部(午後13:00~16:00)小倉カトリック教会

◇教会中庭テントでの平和活動、アピール、語り合い(11:30開場)

◇聖堂:13:00 開始

13:15 グループ発表(5)

14:20 交流タイム

14:45 「希望に向かって」

15:30 平和祈願・奉納・平和の祈り

聖歌:ジュビリーソング、恐れなくて、ささげうた、ピリープ

◇会館2F:13:15 子どもの広場

15:20 聖堂へ。パネル、折り鶴などを奉納。

※屋食カレーが会館1F(休憩室、展示室)に用意されます。飲み物は各自用意。

平和の集いのチラシ、ポスターが配布される予定です。

許可車両のみ駐車可となりますので、教会からのバス又は、公共交通機関をご利用ください。

福音を運ぶ人を目指して

神学科1年 北村 雅彦

皆さん、こんにちは。私は名古屋教区で日本カトリック神学院、神学科1年の北村雅彦です。霊名はマリア・ヨハネ・ヴィアンネです。今回は何故、私が神学院に入り司祭を目指しているのかを書かせて頂こうと思います。

さて、私の両親は、と言いますか北村一族は、それは熱心な仏教系の新宗教の信者です。幼い頃に良く両親が言っていた事で印象に残っているのは、「キリスト教、イスラム教、ヒンズー教なんて言うものは邪教であり、見たり触れたりする事はなりません」と言っていた事です。さらには、「この新宗教のお経を唱えている人は天国に行く事ができる」とも言われていました。小学校低学年の頃は、「そうなんだ〜」と言った感じで、その事については、あまり理解できていませんでした。

しかし、小学校高学年から中学に進む頃、本当にそうなのかな？といった疑問が湧いてきました。その頃から趣味で外国の、特にハリウッド映画を良く見る様になり、映画の世界に出て来るキリスト教と今まで両親から聞いていたキリスト教は全然違うと感じました。そこで両親にキリスト教とは何なのかと聞いてみたのですが、いまひとつ明確な回答を得る事が出来ませんでした。さらには「そんなつまらない事を考えるのはお経を唱える時間が足りないからだ」と怒られました。それじゃ、お経を唱えていない人達はどうなるのかと聞いてみたら、「その人達は地獄に墮ちる」と言われ、そうならない様に多くの人にこの新宗教を広めなくてはならないのだと言われましたが、私には納得できませんでした。高校に進学する頃にはうさん臭くて宗教なんて信じる事が出来なくなりました。

そんな環境で育った私が何故カトリック教会に出会い、教区司祭を養成する神学院に入り、司祭を目指しているのかという話をさせていただきます。

社会人になり仕事をする様になりましたが、その前後から考え方の違いのせいか北村一族の中でも浮いた感じになりました。ある時は、放蕩息子の様に突然家を出て自由に生活をしていた事もありました。約2年間、自由気ままに過ごした後、いろんな事でにっちもさっちも行かなくなり実家に帰りました。その時、父親は何の文句も言わずに迎えてくれた事は今でも感謝しています。とにかく、当時は仕事もあまり順調ではなく、人間関係で悩み数回の転職をしました。

そんな中、店頭販売の仕事をしている時でした。仕事を終えて現場から車で帰宅する時でした。信号待ちで停車した際に突然意識を失ってしまったのです。同行していた上司が心配して見に来てくれた時、私は運転席で失神して痙攣していたそうです。(7面下へ続く)



教会学校のページ

初聖体クラス



6月12日

- 5つの祈りをしました
- 先週の復習をしました
 - ・ 神さまがこのせかいをつくり…とあるので、「創世記」(第1日から7日まで)を読みました。

6月26日

- 5つの祈りをしました。
- テキスト「イエスさま」をしました。
 - ・ 12, 13, 14, 15をみんなで読み、イエスさまがイエスさまがお苦しみになったことを考えました。

3～6年

6月12日

使徒言行録の“聖霊が降る”について勉強しました。
“聖霊が降る”場面を神学生が持って来られた絵の聖書で見せていただきました。

6月26日

アヴェ・マリアの祈りと使徒信条を唱えました。



(6面より続き)

気が付いた時は病院のベッドの上でした。色々な検査をしてみたのですが、原因は不明であり、“てんかん”だろうという事になりました。その上、医者からは車の運転を禁止されてしまいました。営業の仕事をしていた私には致命的でした。結果、その仕事は続けられなくなり、しばらくは療養に専念する事になりました。

その後、状態も安定して来たので工場で働き始めたのですが、今度は実家の屋根から転落して右肘を骨折してしまい、再び職を失う事になってしまいました。(次号へ続く)



★教会学校錬成会★

日 時：7月23日(土)

昨年同様、日帰りで錬成会に出かけます。参加希望の申し込みが行われると思いますので、時間や行き先も含め、教会でのお知らせ等をお聞きください。

なお、この日に1学期の教会学校終業式も行います。

★特別献金★

5月29日 世界広報の日

34,200円

ご協力、ありがとうございました。

【転入】ようそこ、水巻へ

廣渡 友美さん

新田原教会より高須・青葉地区へ



聖書への案内 No.19

イザヤ書

旧約聖書の預言書の中核をなす大切な書です。イエスが会堂で読んだのもイザヤ書でした。(ルカ4章 16～17節)

アモツの子イザヤが書いたことになっていますが、この書は長い期間をかけて記述されたことが分かっていて、解説書にはイザヤの精神を受け継いだ人の加筆だとされています。

年間の典礼の中でも一番大切な典礼では、イザヤ書が読まれています。御復活の典礼では必ず読まれていますので、憶えているでしょう。

現在では第一イザヤ、第二イザヤ、第三イザヤと書かれた時代が違っていることが分かっていて三つに区分されていますが、イザヤが神の御心を伝えようとしたこの書は、私たちの信仰に大きな指針となります。ここでは大きな分類と一番大切な箇所を紹介します。

- *分類 ・ 第一イザヤ 1章～39章 審判の書
- ・ 第二イザヤ 40章～55章 慰めの書
- ・ 第三イザヤ 56章～66章

全ての内容が私たちに神への立ち返りを促していますが、特に次の四つの「主の僕」の箇所は何度も読み返してはどうでしょうか。

- *42章 1節～19節 主の僕の召命
- *49章 1節～9節 主の僕の使命
- *50章 4節～11節 主の僕の忍耐
- *52章 13節～53章 12節 主の僕の苦難と死